



いきいき

訓子府の牛乳加工し、付加価値を

「地元の牛乳を加工して付加価値をつけ販売することが大きな目標」と話す濱野さん。訓子府町酪農家の振興をめざし、青年酪農家たちで「訓子府うしや乳業プロジェクト」を立ち上げました。まだ、スタートの一步を踏み出したばかりですが、近い将来に向けて活動を活性化させています。

「プロジェクトの構成は、20代から40代の9軒の酪農後継者が中心です。メンバーの一人が、生産している牛乳でアイスクリームなどの加工品を作ろうと考え、私自身はそれを応援していました。そこから、乳製品などの加工販売に興味を持つ他の酪農青年たちと活動しよう」と平成24年にプロジェクトを立ち上げました。



濱野 和弘さん (柏丘 48歳)

「プロジェクトの目標は、訓子府の原料(牛乳)で乳製品などの加工品を作り販売するということです。当然、本業は酪農ですから、加工販売も営農に取り入れていくスタイルを作りたい。資金や技術面などあらゆる点で壁があり、すぐに軌道に乗せるといことにはなりませんから、現状は、生乳を網走の業者に委託し瓶入り牛乳として、また、『ぐる・ネップ』で試作を続けているアイスクリームをそれぞれふるさとまつりで販売するなど活動を続けています」

「先進地の視察などで異業種との交流も生まれ、そこから、町外のみならず、まな方と知り合えたことから、『訓子府の牛乳』を原料として町外の、いわゆるスイーツ関係業者に提供する道筋ができそうです」

「大きな目標に向かい、近い将来法人化も予定し、牛乳を訓子府の食材にも活用するなど『訓子府』にこだわり、厳しい農業情勢の中でも、こうした自分のめざすスタイルを守り、仲間を増やし、魅力ある仕事としての酪農の振興をめざしたい」



運動・栄養・休養

■肺炎球菌、定期接種に
今年10月から成人用肺炎球菌ワクチン定期接種(一部自己負担)が開始されました。定期接種とは「予防接種法」に基づき市町村が実施する予防接種です。

■実は怖い病気、肺炎
肺炎球菌は肺炎、中耳炎、気管支炎などを起こす細菌の一つで、肺炎の原因の25〜40%を占めており、特に高齢者での重篤化が問題となっています。肺炎は、日本の死因の第3位となっており、肺炎で亡くなる方の約95%が65歳以上と、肺炎は身近で怖い病気なのです。

■一度の接種で5年の効果
成人用肺炎球菌の予防接種は、65歳以上の方が対象で、今年度から5年間の経過措置として平成30年度まで5歳刻みの方を対象に実施しています。今年度の対象者には、すでにはがきでご連絡しています。

対象でない方も任意接種(全額自己負担)として受けることができますが、「次に受けるのが5年後なんて…」町のお金がなから毎年受けられないの？」

“肺炎球菌など予防接種で『冬支度』”

今月の担当 保健師 藤谷 未来

この声をいただいたので、あらためてここで説明させていただきます。

肺炎球菌の予防接種は、1度接種すると5年以上の効力があります。また、5年以内に再接種すると、注射部位の痛みなどが強く出ることがあるので、「肺炎球菌の予防接種は5年間隔で」と勧められています。

■インフルエンザも一緒に対策
定期接種と言えば、インフルエンザの予防接種もお忘れなく。インフルエンザから肺炎を引き起こすこともあるので高齢者は特に注意が必要です。

インフルエンザは、例年1月から3月に流行すると言われており、毎年12月までに予防接種を受けることが望ましいと考えられます。

衣類の整理、暖房の準備などと一緒に体の冬支度もしましょう。もちろん予防接種だけではなく、手洗い・うがい、適度な栄養と運動で、冬を元気に過ごしましょう！

○問合せ
福祉保健課健康増進係
(☎47-55555)

介護・支援・予防

わたしたちの国民年金

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます

国民年金保険料は、その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料の全額が所得税・住民税などの社会保険料控除の対象となります。また、ご自身の保険料だけでなく、ご自身が配偶者やその家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

控除を受けるためには、年末調整や確定申告をする際に、日本年金機構から送られてくる「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」または「領収証書」の添付が必要となります。

- 控除証明書が届く時期は？
 - ①平成26年1月1日から9月30日の期間に国民年金保険料を納付したことがある場合 ⇒ 11月上旬
 - ②10月1日から12月31日の期間に今年初めて国民年金保険料を納付した場合 ⇒ 来年2月上旬※年末調整や確定申告をするときに控除証明書が届いてない場合は、その期間の領収証書を添付してください。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」については、はがきに表示されている専用ダイヤル(☎0570-058-555)または北見年金事務所(☎25-9635)にお問い合わせください。

保険料納付は便利な口座振替で

くねっぶがフアン

今月は、末広町の木島好得さんと今年結婚したバーロウズ・アリソン・アンさんにお話をうかがいました。

「出身地はアメリカのミズーリ州セントルイス市で、訓子府町に住む前は、日高管内様似町のALTとして勤務していました」

「訓子府町は、自分が住んでいたセントルイス市郊外と同じ景色で、懐かしさを感じましたね」

「今は夫と一緒に黒毛和牛の繁殖農家をしていて、毎日かわいい子牛たちにミルクを与えています。これからはトラクターの免許を取得することが目標です」

「農業以外では、ALTだった経験を生かして、国際交流のお手伝いや町民の方と英語での交流を深めたいですね」



バーロウズ アリソン・アンさん (末広町 29歳)

“農業と国際交流をがんばりたい”